

公募説明会からの修正箇所（19p, 22p, 23p 38p）

↓ 内容

本公募説明会では、

「3 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※委託事業者のみで実施する場合」の
【様式2-3提案書フォーマット（g12-3）委託の補足情報】のみ更新するとお伝えしましたが、

「4 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※補助と委託が共同」も同じく
【様式2-3提案書フォーマット（g12-3）委託の補足情報】を更新しましたので、その箇所を修正しました。

大変申し訳ありませんが、様式2-3は、4/9以降にHPに掲載した様式をダウンロードしてお使いください。

【様式2-3提案書フォーマット（g12-3）委託の補足情報】の更新内容 | 14-16pを追加

ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業 令和7年度補正予算（量子）公募説明会

2026年4月3日（金）15:30-17:00予定

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

AI・ロボット部

<METIより>

1. 事業概要

事業背景、公募の目的、公募対象、公募対象の各概要

<NEDOより>

2. 募集内容

事業の枠組み、事業期間、応募要件、応募における留意事項、

3. 応募方法

受付、提出先、提出書類、提出期限、推奨する準備の流れ

4. 審査プロセス

審査の方法、審査基準、採択審査委員会におけるプレゼン、スケジュール、採択・不採択の通知、採択の公表

5. その他

事前相談会、問い合わせ先、各種マニュアル、お知らせ

<注意事項>

本資料は公募関連書類の注意事項をまとめたものです。応募に当たっては必ず公募要領など、公募ページに掲載された公募関連書類を参照してください。

1. 事業概要

(経産省よりご説明)

1. 事業概要

<事業背景>

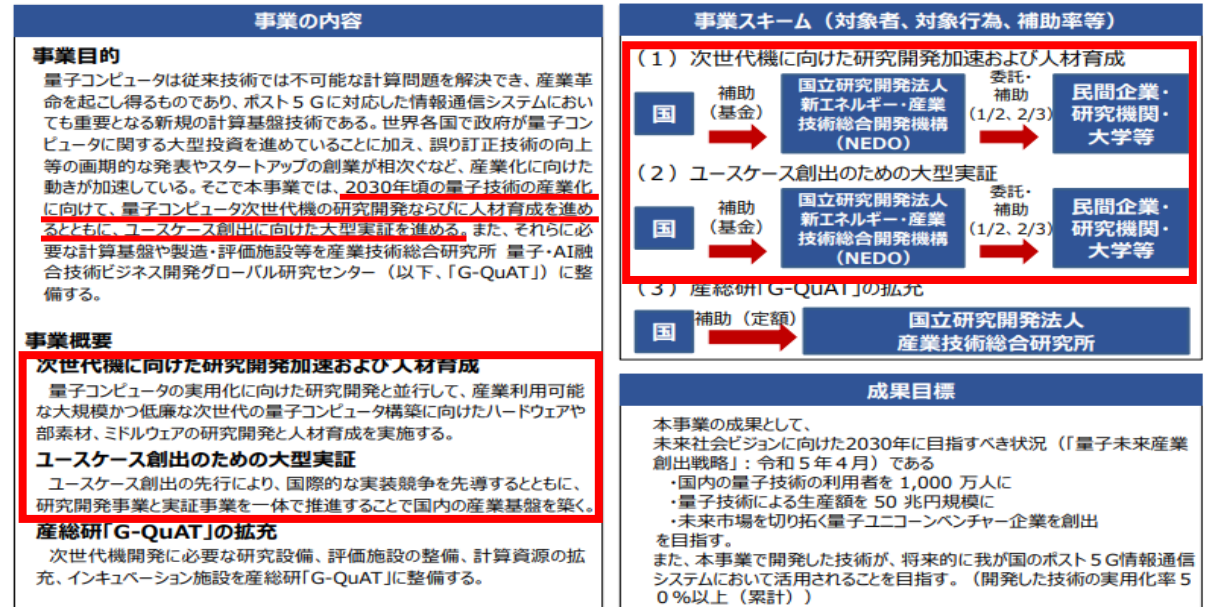
国内企業による量子コンピュータ開発が本格化する一方、国際競争が急速に激化。政府は令和7年11月、「日本成長戦略会議」にて量子を重点分野に位置づけ、産業化と社会実装に向けて研究開発の加速と官民連携によるエコシステム構築を推進。今回の公募は令和7年度補正予算をもとに実施する。

<公募の目的>

NEDOでは、ハードウェア、部素材、ミドルウェアの研究開発、ユースケース創出のための大規模実証、人材育成を実施。量子コンピュータの国内開発能力の強化、関連サプライチェーンの競争力向上、量子エコシステムの形成と新産業創出の加速を図り、2030年頃の量子コンピュータの産業化を推し進める。

量子コンピュータの産業化に向けた開発の加速及び環境整備 令和7年度補正予算額 1,004億円

イノベーション環境局
イノベーション政策課量子産業室



METI 令和7年度補正予算の概要より抜粋 (赤枠：NEDO事業部分)

1. 事業概要

<公募対象>

今回公募する研究開発テーマは以下の通りです。

研究開発計画の項目番号	研究開発テーマ
① g12-1	次世代機実現に向けた量子コンピュータシステムの大規模開発
	g12-1-1 超電導方式量子コンピュータシステムの大規模化開発
	g12-1-2 固体スピン方式量子コンピュータシステムの大規模化開発
① g12-2	大規模量子コンピュータ実現に向けた部素材開発
	g12-2-1 極低温冷凍機の開発
	g12-2-2 レーザー駆動型大規模量子コンピュータに向けたレーザー開発
	g12-2-3 量子コンピュータの大規模化に向けた高集積化技術の開発
① g12-3	量子コンピュータの産業化のための誤り耐性型システムソフトウェア・プラットフォーム標準化開発
① g12-4	ユースケース創出に向けた大型実証
④ b	量子コンピュータの産業化にかかる人材育成
	b-2 量子拠点とアカデミアの連携による人材育成

予算規模
総額 474 億円
(3年間)

<項目ごとの概要・目標等> こちらの研究開発計画をご確認ください。

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/ioho/post5a/pdf/20260324_kenkvukaihatsukeikaku.pdf

1. 事業概要

＜公募対象の各概要＞ ①g12-1, g12-2, g12-3



（本説明会では、①g12-1, g12-2, g12-3については画面切替をし、実際に研究開発計画をお見せしながら説明します）

参照 | ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業研究開発計画（令和8年3月24日改定）

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/post5g/pdf/20260324_kenyukaihatsukeikaku.pdf

＜対象＞

量子技術（量子コンピュータや量子センシングなど）は、様々な分野での利活用が期待されているが、現時点でのユースケースは計算機上の検証に留まっている事例が多い。複雑化する社会・産業課題に対応していくには、計算機上（サイバー）に留まらず、その結果を現実世界（フィジカル）で検証するプロセスや、地域・サプライチェーン全体を対象とした大規模なユースケースの実証・創出が不可欠である。

以下の対象分野において、ユースケース実証を推進することで国内の産業基盤を築くとともに、量子コンピュータの国際的な実装競争を先導していく。

※対象分野 素材・製造、電力、モビリティ・交通・物流、産業保安・気象・防災、創薬

＜目標＞

1. 量子コンピュータの大規模ユースケース実証

従来の古典計算では困難な最適化・解析によるユースケースの創出を目指す。

必要に応じて古典コンピュータや AI を組み合わせて検証することは可能だが、ユースケースの新規性や従来技術と比較した量子コンピュータ・量子技術の優位性が分かる提案内容とすること。

実環境下検証やフィールド実証なども行い、検証結果の妥当性・再現性を明確にすること。

2. 量子コンピュータの高度化に資する量子センシング技術の開発およびその技術を活用した大規模ユースケース実証

開発した量子センシングの要素技術が量子コンピュータの高度化に資することが期待されること。

また、上記開発成果がデバイスとしての一般化や市場性の確保を達成することを目的として、対象分野において当該成果による市場創生が可能なユースケースを開発すること。

1. 事業概要

＜公募対象の各概要＞ ④b-2量子拠点とアカデミアの連携による人材育成



量子拠点を活用した実地教育と各大学・アカデミアの特色を活かして、主に博士人材を輩出するための大学院生を中心とした人材育成を実施し、若手人材の確保と日本の量子業界への定着を図る。

＜対象＞

・必要な人材としては、量子技術に直接関係する知見のみならず、ハードウェアやミドルウェアなどコンピュータシステムを構成するために必要なエンジニアリング技術・IT技術や部素材の開発・評価等に関する技術、量子コンピュータによる産業課題解決に関する技術を有するものや、これら技術を基に量子技術をビジネス化できる、量子技術を普及できる、量子技術に関する国際連携を主導するマネジメント活動が可能なものなどが挙げられる。

・量子拠点、アカデミアに加え、産業界等で活躍できる人材を目指し、国内外の学生（大学、大学院）、ポスドク等の若手研究者、技術者及び産業人材を主な育成対象とする。ただしこれら以外も、その育成の必要性を説明した上で、育成対象とすることも可能とする。

＜目標＞

・本事業は「**修士・博士一貫の学位プログラムの構築**」を前提とした、各大学・アカデミアの特色を活かし、量子拠点と連携した育成内容とすること。将来的には、大学で自走した取り組み（企業からの寄附講座の活用など）にできるよう検討すること。

・提案者は**育成対象**及びその**育成内容**、育成における**量子拠点の役割**を明確にし、それに必要な**育成スキーム**を構築すること。

・上記スキームや得られる成果に関して、学位プログラム等の履修者数、量子分野への就職者数等、提案内容に適した具体的な内容・指標や、事業期間終了後の継続性などを提案時に提示すること。



2. 募集内容

(本頁以降、NEDOより説明)

2. 募集内容

<事業の枠組み>

対象（研究開発テーマ）	事業形態	予算規模	事業期間
(①g12-1) 次世代機実現に向けた量子コンピュータシステムの大規模開発 g12-1-1) 超伝導方式 g12-1-2) 固体スピン方式	【補助】	補助金の額120億円/3年（NEDO負担ベース）を上限とする。金額の内訳は以下の通り。 g12-1-1) 60億円/3年 g12-1-2) 60億円/3年	2026年度～2028年度 ※2027年度にステージゲート審査を予定。
(①g12-2) 大規模量子コンピュータ実現に向けた部素材開発 g12-2-1) 極低温冷凍機 g12-2-2) レーザー装置 g12-2-3) 高集積化技術	【補助】	補助金の額120億円/3年（NEDO負担ベース）を上限とする。金額の内訳は以下の通り。 g12-2-1) 5億円/3年 g12-2-2) 15億円/3年 g12-2-3) 100億円/3年 なお、g12-2-3)は、1件あたりの提案額の上限を、40億円/3年（NEDO負担額ベース）とする。	2026年度～2028年度 ※2027年度にステージゲート審査を予定。
(①g12-3) 量子コンピュータ・ミドルウェア基盤の開発	民間企業：【補助】 学術機関：【委託】	30億円/3年（NEDO負担ベース）を上限とする。	2026年度～2028年度 ※2027年度にステージゲート審査を予定。
(①g12-4) ユースケース創出に向けた大型実証	【補助】	補助金の額150億円/3年（NEDO負担ベース）を上限とする。 1件あたりの提案額の上限は、NEDO負担額ベースで20億円/3年とする。	2026年度～2028年度
(④b-2) 量子拠点とアカデミアの連携による人材教育	【委託】	委託費50億円/3年（NEDO負担ベース）を上限とする。 1件あたりの提案額の上限は、30億円/3年とする。	2026年度～2028年度

2. 募集内容



<事業期間>

対 象	ステージゲート		
	2026年度	2027年度	2028年度
【補助】 g12-1 次世代機実現に向けた量子コンピュータシステムの大規模開発	ハードウェア開発		ステージゲート通過で延長
【補助】 g12-2 大規模量子コンピュータ実現に向けた部素材開発	部素材開発		ステージゲート通過で延長
【補助】 g12-3 量子コンピュータの産業化のための誤り耐性型システムソフトウェア・プラットフォーム標準化開発 【委託】	ミドルウェア開発		ステージゲート通過で延長
	ミドルウェア開発		ステージゲート通過で延長
【補助】 g12-4 ユースケース創出に向けた大型実証	ユースケース創出		
【委託】 b-2 量子コンピュータの産業化にかかる人材育成	人材育成		

補助 委託

- (g12-1)ハードウェア&(g-12-2)部素材 : 2年度分を交付決定 (2年度目にステージゲート審査実施)
- (g12-3)ミドルウェア : 2年度分を複数年度交付決定または複数年度契約 (2年度目にステージゲート審査実施)
- (g12-4)ユースケース : 3年間の複数年度契約 (ステージゲート: 無)
- (b-2)人材育成 : 3年間の複数年度契約 (ステージゲート: 無)

2. 募集内容

<応募要件>

応募資格のある法人は、研究開発計画、2025年度実施方針、公募要領に示された条件を満たす、単独または複数で受託を希望する企業等とします。なお、国立研究開発法人が応募する場合、国立研究開発法人から民間企業への再委託等（再委託先等へ資金の流れがないものを除く。）は、原則認めておりません。また、補助事業と委託事業で定義が異なりますのでご注意ください。

最たるポイント（詳細は公募要領の「応募要件」に譲る）

- ✓ 本邦の企業等は研究開発の中核を担い、国外に対する本邦の競争力強化に資する提案とすること。
- ✓ 技術情報流出防止を講じること。

※補足（用語説明）

用語		説明
委託事業	委託先	NEDOが委託する企業等（＝提案者。複数事業者で提案される場合は「連名提案」と呼称します。）
	再委託先	委託先（＝提案者）が、委託業務の一部を第三者に委託すること（その一部には研究開発要素が含まれる。）。
	共同実施先	委託先（＝提案者）が委託業務の一部を第三者と共同で実施すること（その一部には研究開発要素が含まれる）。 ※一般的には「共同研究先」のこと。
補助事業	補助先	NEDOが交付金を出す企業等（＝提案者。複数事業者で提案される場合は「連名提案」と呼称します。）
	委託先	補助先（＝提案者）が、事業の一部を第三者に委託すること（その一部には研究開発要素が含まれる）。
	共同研究先	補助先（＝提案者）が、事業の一部を第三者と共同で実施すること（その一部には研究開発要素が含まれる）。

※同じ「委託先」という用語ですが、委託事業と補助事業で指すものが異なりますので、ご注意ください。

※本説明会では、委託の再委託先・共同実施先と補助の委託先・共同研究先をまとめて「再委託先等」と表記しています。

<応募における留意事項>

【全事業に共通】 ※公募要領より

- 現時点の予算総額は**474億円**であり、この予算の範囲内で採択先を決定します。
- 本事業は、当初設定された予算額に加え、実施期間中の進行状況等に基づき、予算上限額の増額を検討する場合があります。
- 各研究開発項目の事業期間は**最長2028年度までの3年度間**です。ただし、これは上限であり、早期の事業化が可能であるなど、早期に事業終了が可能な場合はこれより短い期間での提案を認めます。なお、提案期間の長短に関わらず、予算規模は公募要領1. (2)の表に記載のとおりとします。
- 本事業は、①g12-1、①g12-2、①g12-3の研究開発成果が緊密に連携することにより、量子コンピュータの早期産業化を目指すものであることから、**①g12-1、①g12-2、①g12-3の連携提案を可能**とします。連携提案の場合は、①g12-1、①g12-2、①g12-3のそれぞれで必要な額を明確化した上で、総額で提案を行ってください。
- ①g12-1、①g12-2、①g12-3の単独提案は可としますが、採択後に①g12-1の採択者との開発内容や目標のすりあわせを行い、その結果を踏まえ、N E D Oが実施計画書の変更を求める場合があります。

2. 募集内容

<応募における留意事項> ※前頁の続き

【委託に共通】 ※公募要領より

- 委託事業者が再委託、共同実施を行う場合には、あらかじめ実施計画書に記載してください。**再委託費及び共同実施費の合計額は、原則として委託先とNEDOとの間の契約金総額の50%未満です。**

【補助に共通】 ※公募要領より

- 補助事業者が委託、共同研究を行う場合には、あらかじめ交付申請書に記載してください。**委託費及び共同研究費の合計額は、原則としてNEDOから補助先への補助対象費用の総額の50%未満です。**
- 補助事業の補助率は、**中堅・中小企業・ベンチャーは2/3、それ以外は1/2**とします。なお、中堅・中小・ベンチャーの定義については、別添の「提案者情報」をご参照ください。
- 本公募については、学術機関等（国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、ならびに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関）に対する共同研究費を補助対象費用とする場合は、当該研究費については**定額補助**します。

2. 募集内容

＜応募における留意事項＞ ※前頁の続き

各研究開発テーマに係る詳細は、研究開発計画・公募要領・提案書フォーマットに譲ります。ここでは主要な点のみ示します。

【①g12-2】

開発した部素材等の量子コンピュータ以外の応用先が想定される場合、その応用やビジネス化に必要な内容を、提案の一部に含めることを可能とします。ただし量子コンピュータへの応用は必須です。

【①g12-3】

提案者が「民間企業」、「日本の学術機関」、「民間企業と学術機関の共同提案」のいずれかにより、提案パターンが異なります（後述しますが、提案書式が異なる点、ご注意ください）。

【①g12-4】

「1. 量子コンピュータの大規模ユースケース実証（以下、g12-4 量子コンピュータ）」と「2. 量子コンピュータの高度化に資する量子センシング技術の開発およびその技術を活用した大規模ユースケース実証（以下、g12-4 センシング）」の2つがあり、提案パターンが異なります。また、g12-4 量子コンピュータについては、公募要領の別紙2をよく確認の上、提出ください（後述しますが、提案書式が異なる点、審査基準が異なる点、ご注意ください）。

【④b-2】

研究開発計画より以下の点も考慮してください。

- ・本テーマでは量子拠点（G-QuAT 等）を活用した実地教育と各大学・アカデミアの特色を活かして、主に博士人材を輩出するための大学院生を中心とした人材育成を実施し、若手人材の確保と日本の量子業界への定着を図ること。
- ・本事業は「修士・博士一貫の学位プログラムの構築」を作る または作ることを前提とすること。
- ・単なる設備投資ではなく、研究開発要素のある提案とすること。
- ・将来的には、大学で自走した取り組み（企業からの寄附講座の活用など）にできるよう検討すること。

3. 応募方法

<受付>

本公募は、**電子申請システム「Jグランツ」**で応募を受け付けます。

また採択・不採択結果も、原則として当該システムで通知します。

なお、**事前にGビズID の「GビズIDプライムアカウント」又は「GビズIDメンバーアカウント」が必要です。**

GビズIDの取得は2週間以上かかる場合もあるため、GビズIDを未取得であれば余裕をもって登録手続きを行ってください。

GビズIDが無いと本事業への応募ができませんので、十分留意ください。

<提出先>

以下の J グランツ公募ページから、必要情報の入力と提出書類のアップロードを行った上で、申請してください。

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDX4bMAH?wfid=a0XJ2000006evWYMAY>

※ J グランツ上の申請は提出期限を厳守ください。提出期限を過ぎた提案は受け付けません。

※ 他の提出方法（持参、郵送、FAX 又は E-mail 等）による提出は、原則受け付けません。

※ 万が一、応募者の責に依らない理由（例：組織形態上、G ビズ ID の取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、Jグランツ等の外部システムの障害発生により申請ができない等）により、提出期限までにJグランツ上の申請処理が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。

<提出書類>

テーマによって提出する書類が異なりますのでご注意ください。

- 1 | 提出書類一式【課題 ①g12-1、①g12-2、①g12-4センシングの場合】
- 2 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※補助事業者のみで実施する場合
- 3 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※委託事業者のみで実施する場合
- 4 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※補助と委託が共同
- 5 | 提出書類一式【課題 ①g12-4の量子コンピュータの場合】
- 6 | 提出書類一式【課題 ④b-2の場合】

注意点（3つ）

- ✓ g12-3は、「民間企業」、「日本の学術機関」、「民間企業と学術機関の共同提案」のいずれかにより、様式が異なります。
- ✓ 「3 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※委託事業者のみで実施する場合」
「4 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※補助と委託が共同」
の[【様式2-3提案書フォーマット（g12-3）委託の補足情報】](#)を更新しました。
4/9以降にHPに掲載する様式をダウンロードしてお使いください。
- ✓ g12-4は、センシングと量子コンピュータで様式が異なります。

3. 応募方法

<提出書類> 1 | 提出書類一式【課題 ①g12-1、①g12-2、①g12-4センシングの場合】

全員		
①	提案書	様式1-1提案書フォーマット (g12-1, g12-2,g12-4 [センシング])
		様式5積算用総括表 (補助) .pdf
		様式7研究体制表
②		様式5積算用総括表 (補助) .excel
③		別添1 主任研究者研究経歴書及び若手研究者 (40歳以下) 数
④		別添2 提案者情報 (補助)
⑤		別添3 ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況 (補助)
⑥		別添4 事業開始年度の賃金を引き上げる旨の表明資料【企業のみ】
⑦		別添5 NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票 (技術流出防止措置対象_補助事業版)
⑧		別添6 出向者派遣の意向
⑨		【当該提案内容に関して、国外企業等と連携している、又はその予定がある場合】は、当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料
⑩		申請提出書類のチェックリスト
企業のみ		
⑪		会社案内 (会社経歴、事業部・研究所等の組織等に関する説明書) 【企業のみ】
⑫	統合	直近の事業報告書
⑬		直近3年分の単体／連結財務諸表 (原則、円単位)

3. 応募方法

<提出書類> 2 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※補助事業者のみで実施する場合

全員		
①	提案書	様式2-1提案書フォーマット (g12-3) 補助委託共通
		様式2-2提案書フォーマット (g12-3) 補助の補足情報
		様式5積算用総括表 (補助) .pdf
		様式7研究体制表
②	様式5積算用総括表 (補助) .excel	
③	別添1 主任研究者研究経歴書及び若手研究者 (40歳以下) 数	
④	別添2 提案者情報 (補助)	
⑤	別添3 ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況 (補助)	
⑥	別添4 事業開始年度の賃金を引き上げる旨の表明資料【企業のみ】	
⑦	別添5 NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票 (技術流出防止措置対象_補助事業版)	
⑧	別添6 出向者派遣の意向	
⑨	【当該提案内容に関して、国外企業等と連携している、又はその予定がある場合】は、当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料	
⑩	申請提出書類のチェックリスト	
企業のみ		
⑪	会社案内 (会社経歴、事業部・研究所等の組織等に関する説明書) 【企業のみ】	
⑫	統合	
⑬	直近の事業報告書	
	直近3年分の単体／連結財務諸表 (原則、円単位)	

3. 応募方法

<提出書類> 3 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※委託事業者のみで実施する場合

全員			
①	① 提案書	様式2-1提案書フォーマット (g12-3) 補助委託共通 様式2-3提案書フォーマット (g12-3) 委託の補足情報 様式6積算用総括表 (委託) .pdf	4/9HP再掲載の様式をご利用ください
	②	様式6積算用総括表 (委託) .excel	
	③	別添1 研究開発統括責任者候補及び研究開発責任者の研究経歴書、並びに若手研究者 (40歳以下) 数	
④	別添2 提案者情報 (委託)		
⑤	別添3 ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況 (委託)		
⑥	別添5 NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票 (技術流出防止措置対象_委託事業版)		
⑦	別添6 出向者派遣の意向		
⑧	【当該提案内容に関して、国外企業等と連携している、又はその予定がある場合】は、当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料		
⑨	申請提出書類のチェックリスト		
企業のみ			
⑩		会社案内 (会社経歴、事業部・研究所等の組織等に関する説明書) 【企業のみ】	
⑪	⑩ 統合	直近の事業報告書	
⑫		直近3年分の単体/連結財務諸表 (原則、円単位)	
必要な提案者のみ			
⑬		N E D Oが提示した契約書 (案) 【契約書(案)や約款について疑義がある場合】	

3. 応募方法

<提出書類> 4 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※補助と委託が共同

全員	
① 提案書	様式2-1提案書フォーマット (g12-3) 補助委託共通
	様式2-2提案書フォーマット (g12-3) 補助の補足情報
	様式2-3提案書フォーマット (g12-3) 委託の補足情報
	様式5積算用総括表 (補助) .pdf
	様式6積算用総括表 (委託) .pdf
	様式7研究体制表
②	様式5積算用総括表 (補助) .excel
③	様式6積算用総括表 (委託) .excel
④	別添1 主任研究者研究経歴書及び若手研究者 (40歳以下) 数【補助事業者】
⑤	別添1 研究開発統括責任者候補及び研究開発責任者の研究経歴書、並びに若手研究者 (40歳以下) 数【委託事業者】
⑥	別添2 提案者情報 (補助)
⑦	別添2 提案者情報 (委託)
⑧	別添3 ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況 (補助)
⑨	別添3 ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況 (委託)
⑩	別添4 事業開始年度の賃金を引き上げる旨の表明資料【企業のみ】 (補助)
⑪	別添5 NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票 (技術流出防止措置対象_補助事業版)
⑫	別添5 NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票 (技術流出防止措置対象_委託事業版)
⑬	別添6 出向者派遣の意向
⑭	【当該提案内容に関して、国外企業等と連携している、又はその予定がある場合】は、当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料【委託事業者のみ】
⑮	申請提出書類のチェックリスト
企業のみ	
⑯	会社案内 (会社経歴、事業部・研究所等の組織等に関する説明書) 【企業のみ】
⑰	直近の事業報告書
⑱	直近3年分の単体/連結財務諸表 (原則、円単位)
必要な提案者のみ	
⑲	N E D Oが提示した契約書 (案) 【契約書(案)や約款について疑義がある場合】

4/9HP再掲載の様式をご利用ください

3. 応募方法

<提出書類> 5 | 提出書類一式【課題 ①g12-4の量子コンピュータの場合】

全員		
①	提案書	様式3-1提案書フォーマット（g12-4 [量子コンピュータ] ）
		様式5積算用総括表（補助）
		様式7研究体制表.pdf
②		様式5積算用総括表（補助）.excel
③		別添1 主任研究者研究経歴書及び若手研究者（40歳以下）数
④		別添2 提案者情報（補助）
⑤		別添3 ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況（補助）
⑥		別添4 事業開始年度の賃金を引き上げる旨の表明資料【企業のみ】
⑦		別添5 NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票（技術流出防止措置対象_補助事業版）
⑧		別添6 出向者派遣の意向
⑨		【当該提案内容に関して、国外企業等と連携している、又はその予定がある場合】は、当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料
⑩		申請提出書類のチェックリスト
企業のみ		
⑪	統合	会社案内（会社経歴、事業部・研究所等の組織等に関する説明書）【企業のみ】
⑫		直近の事業報告書
⑬		直近3年分の単体／連結財務諸表（原則、円単位）

3. 応募方法

<提出書類> 6 | 提出書類一式【課題 ④b-2の場合】

全員		
①	提案書	様式4-1提案書フォーマット (b2) 様式6積算用総括表 (委託) .pdf
②		様式6積算用総括表 (委託) .excel
③		別添1 研究開発統括責任者候補及び研究開発責任者の研究経歴書、並びに若手研究者 (40歳以下) 数
④		別添2 提案者情報 (委託)
⑤		別添3 ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況 (委託)
⑥		別添5 NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票 (技術流出防止措置対象_委託事業版)
⑦		別添6 出向者派遣の意向
⑧		【当該提案内容に関して、国外企業等と連携している、又はその予定がある場合】は、当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料
⑨		申請提出書類のチェックリスト
企業のみ		
⑩		会社案内 (会社経歴、事業部・研究所等の組織等に関する説明書) 【企業のみ】
⑪	統合	直近の事業報告書
⑫		直近3年分の単体／連結財務諸表 (原則、円単位)
必要な提案者のみ		
⑬		N E D Oが提示した契約書 (案) 【契約書(案)や約款について疑義がある場合】

3. 応募方法

<提出期限>

2026年3月25日（水） 10:00から、2026年4月24日（金） 正午まで（必着）

※ 応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。

公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトの公募ページ上でお知らせいたします。

※ 提出期限直前はアクセスが集中し、混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

参考までに、推奨する準備の流れを示します。

<推奨する準備の流れ> **おすすめ**

1. Jグランツにアクセスできるか確認。

できない場合、早急にGビズID の「GビズIDプライムアカウント」又は「GビズIDメンバーアカウント」を取得。

2. 公募要領を確認

3. 公募HPから該当の提案書一式（zip）をダウンロード

4. 提案書チェックリストを一読

5. 必要書類を作成

6. Jグランツへ必要事項を登録

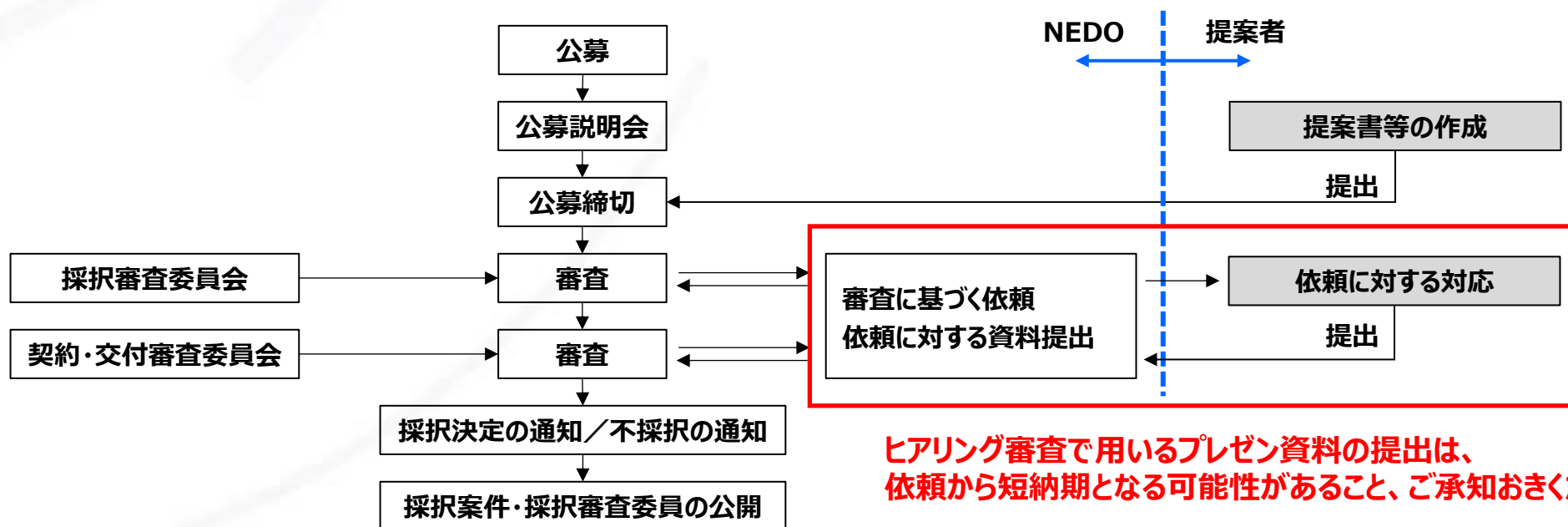
7. Jグランツへ必要書類をアップロード（2026年4月24日（金）正午まで）

4. 審査プロセス

4. 審査プロセス

<審査の方法>

- 外部有識者による採択審査委員会で審査の上、その結果を踏まえ、NEDO内の契約・交付審査委員会を経て、最終的に実施者を決定します。なお、本事業の採択審査委員会では経済産業省イノベーション・環境局、NEDOのそれぞれで開催及び審査します。
- 複数の研究課題をまとめた提案においては、審査の結果部分採択を行う場合があります。
- 必要に応じてヒアリング審査や資料の追加、代表者面談等をお願いする場合があります。なお、採択先の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられませんのであらかじめご了承ください。



ヒアリング審査で用いるプレゼン資料の提出は、依頼から短納期となる可能性があること、ご承知おきください。

4. 審査プロセス

<審査基準>

経産省は政策目的との合致性等、NEDOは開発内容や技術の実用化観点等を審査します。

	g12-1, g12-2, g12-3, g12-4のセンシング	g12-4の量子コンピュータ	b-2
1次採択審査 (経産省)	<ul style="list-style-type: none"> i. 研究開発計画への合致性 ii. 適切な情報管理体制の確保 iii. 事業化の実現可能性 iv. 事業化後の継続可能性 	<ul style="list-style-type: none"> i. 研究開発計画への合致性 ii. 適切な情報管理体制の確保 iii. 事業化の実現可能性 iv. 事業化後の継続可能性 	実施しない
2次採択審査 (NEDO)	<ul style="list-style-type: none"> i. 提案技術の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発計画との合致性 ・提案内容の新規性 ・目標とする技術レベルの難易度・到達時の優位性 ・提案開発の実現可能性 ・提案額・実施期間の妥当性 ii. 提案者の能力評価 <ul style="list-style-type: none"> ・開発実績 ・実施体制の妥当性 ・財務能力（経理的基礎）、経理等事務管理/処理能力 iii. 実用化・事業化の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・想定する市場規模 ・実用化・事業化計画の具体性 ・実用化・事業化計画の実現可能性 ・国民生活や社会への波及効果 iv. 総合評価 	<ul style="list-style-type: none"> i. 事業の適合性 (本事業の目的・目標に適合しているか 等) ii. 開発の優位性 (開発内容に新規性・優位性等があるか 等) iii. 計画の妥当性 (達成目標が明確で、企業化を見据えた効率的・効果的な開発スケジュールか 等) iv. 事業化計画 (事業化のターゲットが明確で、企業化計画が具体的かつ実行性があるか、産業創出効果や売上見通しに実現性があるか 等) v. 実施体制・能力 (役割分担が明確で効率的な体制か、必要な人員・設備・支援体制や関連分野の開発実績を有するか 等) vi. 提案の経済性 (予算の範囲内で必要経費を適切に計上しているか、他事業との重複なく妥当な予算規模か 等) vii. 総合評価 	<ul style="list-style-type: none"> i. 研究開発計画への合致性 ii. 提案された方法が優れており内容が妥当であること iii. 提案内容・事業計画が実現可能であること iv. 関連分野の人材育成に関する実績を有すること v. 当該事業を行う体制が整っていること vi. 適切な情報管理体制の確保 vii. 量子技術関連市場への貢献 viii. 総合評価

4. 審査プロセス

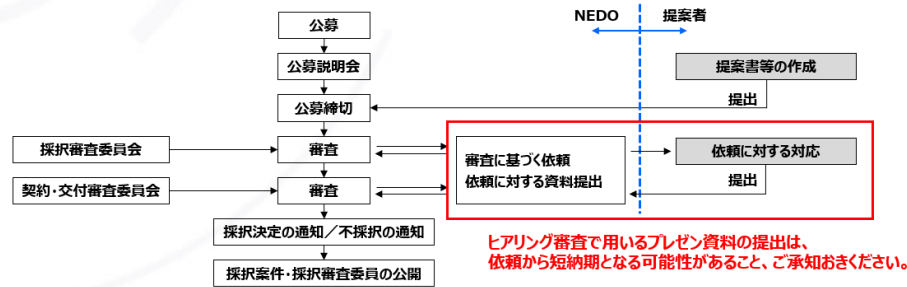
<採択審査委員会におけるプレゼン>

提案書類の受理後、採択審査委員会への参加依頼をご連絡します。

採択審査委員会では、pptxでプレゼン資料を作成いただき、提案内容を発表いただきます。

来週（4/9以降）を目途に、公募HP上にプレゼン資料の雛形を掲載します。

採択審査委員会への参加依頼、本様式をすぐに提出いただくことになるため、事前の一読願います。



(見本)

4. 審査プロセス

<スケジュール>

2026年3月25日	: 公募開始
2026年4月3日	: 公募説明会（本説明会）
2026年4月24日	: 公募締切（正午必着）
2026年5月下旬（予定）	: 採択審査委員会（外部有識者による審査）
2026年6月下旬（予定）	: 契約・交付審査委員会
2026年6月下旬（予定）	: 採択先決定
2026年6月下旬（予定）	: ウェブサイトに公表
2026年8月中旬（予定）	: 契約締結/交付決定

※上記は目安であり、変更される可能性がある点、ご了承ください。

4. 審査プロセス

<採択・不採択の通知>

J Grantsを通じて実施します。

<採択の公表>

採択の場合 | 概要をNEDOのウェブサイト等で公開します。

不採択の場合 | 不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

なお採択にあたって条件を付す場合があります。

5. その他

<事前相談の受付>

本公募への提案を検討されている方向けに、提案内容の公募趣旨・内容への適合性や提案にあたっての疑問点・不明点等について、事前相談を受け付けます。事前相談をご希望の方は、以下の申込期間中にお申し込みください。なお、事前相談のお申し込みは**先着順**とします。申し込みが多数となった場合や申し込みが殺到した場合などは事前相談をお受けできない場合もございます。

申込期間：**2026年3月25日（水）10時00分～2026年4月13日（月）12時00分まで**

申込方法：公募HPにある「事前相談申込書フォーマット」に必要事項を記入の上、申込期間内に以下の宛先まで提出ください。

日時や会議用URL等は、NEDO担当者から別途ご連絡します。

担当者：AI・ロボット部 大谷、瀧澤、橋間

E-mail：P5G-quantum@ml.nedo.go.jp

<事前相談の実施要領>

対応期間：2026年3月25日（水）10時00分～2026年4月17日（金）12時00分目途

実施形式：オンライン（Teams形式）

相談時間：**1件あたり30分程度（1事業者、原則1回まで）※複数事業者のいる共同提案の場合も事前相談は1回までとします。**

留意事項：事前相談の際には、「事前相談申込書フォーマット」に記載された留意事項を遵守いただきますので、必ず事前にご確認ください。

<問い合わせ先>

お問い合わせは、**2026年3月25日（水）から4月17日（金）**の間に限り、以下の問い合わせ先のE-mailで受け付けます。
ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

(1)公募の内容及び契約に関する問い合わせ（(2)に関する問い合わせは除く）

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

AI・ロボット部 大谷、瀧澤、橋間

E-mail : P5G-quantum@ml.nedo.go.jp

(2)研究開発計画の内容に関する問い合わせ

経済産業省イノベーション・環境局イノベーション政策課 量子担当者

E-mail : bzl-quantum-ml@meti.go.jp

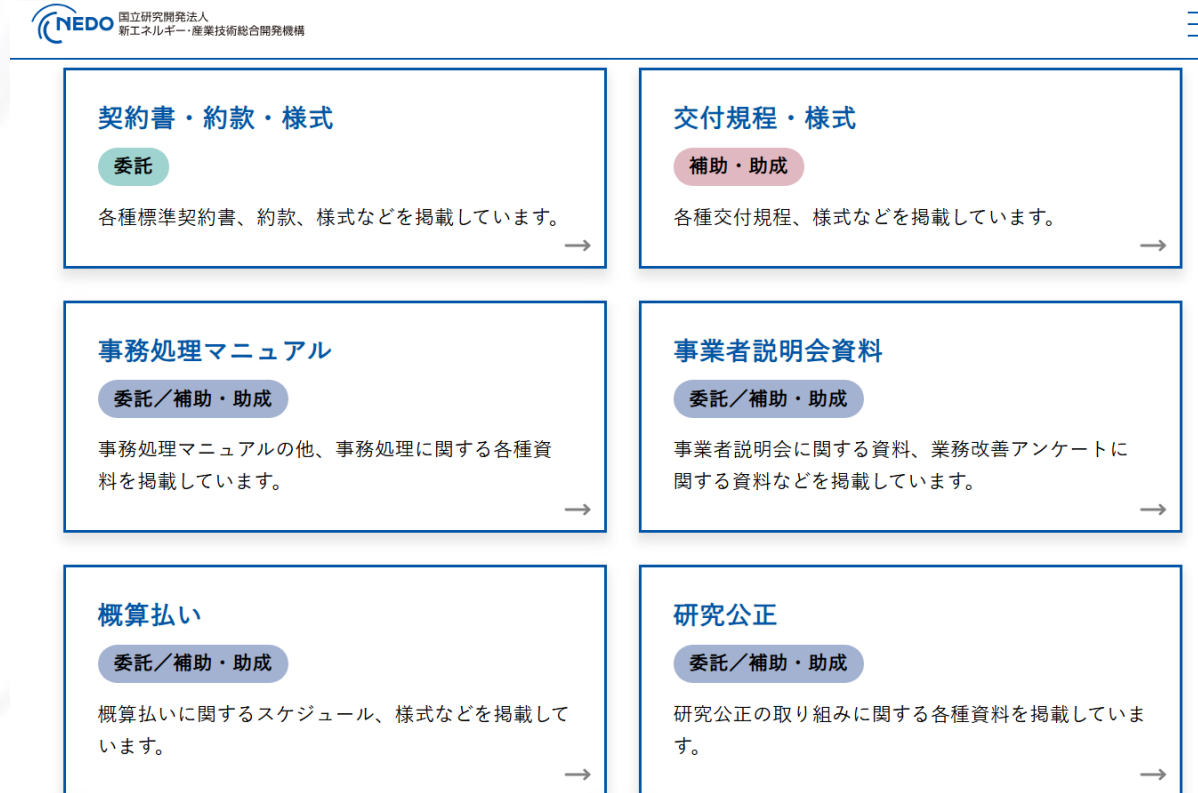
なお、お問い合わせ内容の内、応募検討者全員に公開すべきと判断される場合は、質問者の個人情報を伏せたうえで、NEDOホームページの公募情報のページもしくはWeb入力フォームにQA集として掲載いたします。

5. その他

<各種マニュアル>

以下のNEDOホームページより、各種マニュアルをダウンロードすることができます。

<https://www.nedo.go.jp/keiyaku/index.html>



The screenshot shows the NEDO website interface with a grid of six manual categories. Each category includes a title, a sub-category, and a brief description. The categories are:

- 契約書・約款・様式** (Contracts, Terms, and Forms) - Sub-category: 委託 (Commission). Description: 各種標準契約書、約款、様式などを掲載しています。 (We have posted various standard contracts, terms, and forms.)
- 交付規程・様式** (Delivery Procedures and Forms) - Sub-category: 補助・助成 (Subsidies and Grants). Description: 各種交付規程、様式などを掲載しています。 (We have posted various delivery procedures, forms, etc.)
- 事務処理マニュアル** (Business Process Manual) - Sub-category: 委託／補助・助成 (Commission / Subsidies and Grants). Description: 事務処理マニュアルの他、事務処理に関する各種資料を掲載しています。 (In addition to the business process manual, we have posted various materials related to business processing.)
- 事業者説明会資料** (Business Meeting Materials) - Sub-category: 委託／補助・助成 (Commission / Subsidies and Grants). Description: 事業者説明会に関する資料、業務改善アンケートに関する資料などを掲載しています。 (We have posted materials related to business meetings, materials related to business improvement surveys, etc.)
- 概算払い** (Advance Payment) - Sub-category: 委託／補助・助成 (Commission / Subsidies and Grants). Description: 概算払いに関するスケジュール、様式などを掲載しています。 (We have posted schedules, forms, etc. related to advance payment.)
- 研究公正** (Research Integrity) - Sub-category: 委託／補助・助成 (Commission / Subsidies and Grants). Description: 研究公正の取り組みに関する各種資料を掲載しています。 (We have posted various materials related to research integrity efforts.)

<お知らせ>

来週（4/9以降）を目途に、本公募のHP上に以下の資料を掲載します。

■新規追加資料

- ✓ 本資料
- ✓ QA集（よくあるご質問）※適宜更新予定
- ✓ ヒアリング審査に使用するプレゼン資料の雛形

■更新（差替）

✓ 公募要領

（誤記修正）3p, 4p

誤 | g12-3 量子コンピュータ・ミドルウェア基盤の開発

正 | g12-3 量子コンピュータの産業化のための誤り耐性型システムソフトウェア・プラットフォーム標準化開発

- ✓ 「3 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※委託事業者のみで実施する場合」
「4 | 提出書類一式【課題 ①g12-3】※補助と委託が共同」
の【様式2-3提案書フォーマット（g12-3）委託の補足情報】を更新しました。
4/9以降にHPに掲載する様式をダウンロードしてお使いください。

